



# 4 説明文を読む

学習日 / 年 月 日

1 次の文章を読んで、下の問いに答えなさい。

秋おそくなると、テントウムシは冬越しの支度にかかる。テントウムシは、親虫がそのまま冬を越し、春、アブラムシたちが植物の若芽が増えはじめると、そこへやってきてアブラムシを食べ、卵を産むのである。

晩秋の晴れた日、空を眺めると、たくさんテントウムシが飛びかっている。彼らは冬越しの場所を探しているのである。冬を越す場所として、テントウムシたちは、とにかく雨のかわからない、乾いたところを選ぶ。物置のすみ、屋根の下の門柱にかかった小学校の大きな看板、岩の割れ目やすきまなど、どこでもよい。テントウムシがもぐりこめるだけのすきまがあり、敵が入りこんでこないような乾いた大きなすきまならどこでもよいのである。

あまり小さな狭いすきまはだめである。家の天井裏のように開放的などころもだめである。冬中、雪に埋もれてしまうような場所は、雪解けのときに水びたしになるだろうから、やはりだめである。……てなことをいって選り好みをしていると、適当な場所はなかなかない。そこでテントウムシたちは、かなりの距離をいとわず飛びまわり、とにかく乾いていそうな場所を探す。乾いていそうな場所とは、白っぽい色をしたところだ。山腹にいろいろな色を塗った板を立てかけておく実験では、白い板にいちばんよく飛んできた。こうしてテントウムシたちは、一匹ずつがよさそうな場所を探しまわり、よしと思ったらそこへもぐりこむ。その結果、ある場所には何百匹、何千匹というテントウムシが集まり、「集団越冬」をすることになるのである。

(日高敏隆「ネコはどうしてわがままか」より)

(1) テントウムシは何を食べるのですか。文章中からぬき出しなさい。

(2) テントウムシはどこに卵を産みますか。文章中から五字でぬき出しなさい。

.....  
.....  
.....



アブラムシが増えはじめたところへやってきて卵を産むんだよ。

(3) 線①「冬越しの場所」とありますが、具体的にどのような場所ですか。文章中から三か所ぬき出しなさい。

.....  
.....  
.....



具体的な場所を答えることに注意しよう。

(4) 線②「白い板にいちばんよく飛んできた」とありますが、それはなぜですか。最もふさわしいものを次の中から選り、記号で答えなさい。

- ア テントウムシは白っぽい色が好きだから。
- イ 乾いていそうな場所は白っぽい色だから。
- ウ テントウムシは暗い場所が苦手だから。
- エ 選り好みをしていると適当な場所がないから。

「テントウムシたちは……乾いていそうな場所を探す。乾いていそうな場所とは、白っぽい色をしたところだ」に着目しよう。